



まほろばの丘から



令和3年5月13日 文責 校長 江口 尋信

緊急事態宣言の中で

5月12日からの「緊急事態宣言」に伴い、本県では、緊急事態宣言中の学校行事を原則行わないこと、感染対策が講じにくい学習活動は実施しないこと、マスクの着用・手洗い・換気について徹底を図ることとなりました。

子どもたちの健康・安全を第一に考え、改めて教育活動の点検、変更を行いたいと考えています。一方で、昨年度から続く自粛や制限等による子どもたちのメンタルヘルスへの影響が懸念されます。学校としては、再度気を引き締めて感染防止対策の徹底を図るとともに、併せて、子どもたちの気持ちを大切にしながら学びを止めないことにも努めたいと考えています。

先日おたよりでお知らせしましたが、5月29日（土）の運動会についても緊急事態宣言により延期せざるを得なくなりました。本校では、各学年とも運動会の練習に入っていること、6年生を中心に運動会への気持ちが高まっていることを踏まえ、6月11日（金）に延期することとしました。気候や緊急事態宣言の延長などの理由で6月11日に実施できない場合は更に秋に延期します。

このことについては、教育委員会と相談しながら学校として判断したところですが、気になるのは子どもたちの気持ちです。特に、6年生は実行委員を決め、大声を出さないなどの感染防止を行いつつながらどうにかして運動会を盛り上げたいと頑張っています。

そこで、5月10日（月）の昼休みに6年生の実行委員を集めて、運動会の延期と今後の見通しについて私から話をしました。子どもたちは真剣な顔で話を聞いてくれました。話の終わりに書いてくれた感想を少し紹介します。

- 運動会ができるなら、いつになっても昨年よりできたらいいと思います。多分みんなもそうだと思います。いつになってもいいから全校で運動会をやりたいし、昨年できなかったことを、昨年の分までやりたいと思います。それから、成長したところも見てもらいたいです。
- 運動会が少しのびたのは、ちょっと「えーっ」ってなったけど、その分練習がたくさんできるようになったから全然いいと思いました。でも、のびるってことは、ちょっとコロナが激しくなって中止になったり去年みたいになったりするのはいやだなと思いました。校長先生の話聞いて、同じクラスの人や他の学年の人にも楽しくするよう呼びかけたいなと思いました。もしコロナが流行していてもルールを守りながら今までにない形で最高の運動会にしたいと思いました。秋までのびると本当に大丈夫かなと思いました。でも、そこまで計画するってことは先生たちもがんばっているから、ぼくたちは、いつあろうと全力でやりたいなと思いました。
- 運動会が6月まで延期してしまったし、6月にもあるか分からないから心配だし悲しいけど、無くならないうちからよかったと思いました。運動会は年に1回しかないし、今年は6年生で最後だから、運動会実行委員として準備などもがんばりたいです。最後の運動会を、クラスの人々と協力して楽しい運動会にしたいです。

子どもたちは前を向いて進もうと考えています。その気持ちに応えていきたいと思っています。